

聴性脳幹反応検査(ABR)

聴覚神経に対し、音刺激を与えてその刺激の伝導路異常を調べる検査です。
難聴、特に乳児や小児の難聴（先天性、感染性、心因性など）等がわかります。

【検査方法】

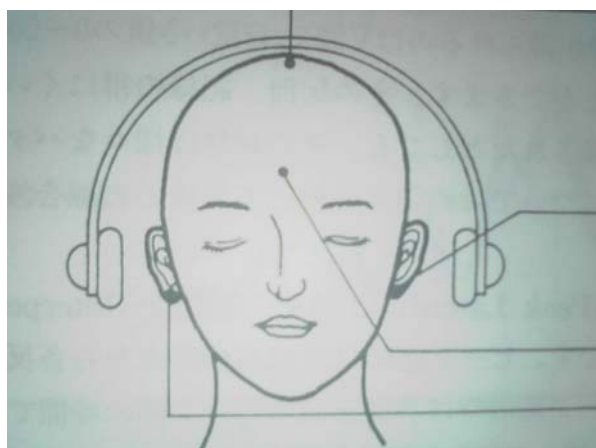
頭と耳たぶに電極をつけ、ベッドに仰向けになってヘッドホンをつけます。
ヘッドホンからはカチカチという音が聞こえます。
目を閉じ静かに動かないで、リラックスした状態で音を聞いていてください。

【検査時間】

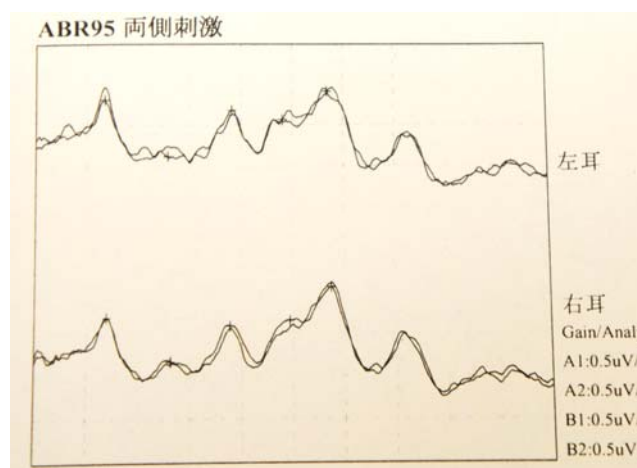
30～60分です。患者さんの状態により時間がかわってきます。

【検査の準備・注意事項】

検査中、力が入ったり動いたりすると導出する波形にノイズが入り検査が出来ないことがあります。
なるべくリラックスしてください。
小さなお子さんでどうしても動いてしまう場合は、薬で寝ていただくこともあります。睡眠を促す薬は副作用や検査への影響はありません。



絵のように耳たぶと額、頭頂部に電極を付け、ヘッドホンで音を聞く検査です。



正常波形